

R4年度 モコ草薙保育園 園評価

保護者アンケートより

・年度末に実施した保護者アンケートの結果から保育園運営や日頃の保育の様子について、保護者からのご理解をいただいているものと感じられた。多くの保護者から食事・排泄・睡眠など生活面全般や発語など、子どもの成長に関して集団の中にいるからこそ得られたという声が多く上がった。保育園だけでなく、0.1.2歳児という保護者との愛着関係がとても大切な年齢であり、家庭での関りが大きく影響をするため、引き続き家庭との連携を図りながら子育てのお手伝い出来るような頼れる園でありたいと思う。

・防犯対策に関しては、毎年のように不安という声上がる。園としても、不審者の訓練も定期的に行い振り返り、現状で出来ることを考え次に繋げている。防犯・防災すべてにおいて、訓練には園児も参加するため保育者の声掛けで避難も上手に出来る。訓練は徹底しているものの実際遭遇したら…を考えると日頃からの意識の大切さを感じる。

職員評価より

・保育士としての強みを個人評価の中で上げた際『協調性がある』『子どもに寄り添う気持ち』『保育を楽しもうとする思い』などが多く挙げられていた。保育はチームで行うため、協力しようとする気持ちや、相手への気遣いも大切になる。また、自分自身が楽しむことが出来なければ、楽しい経験を保育の中に取り入れることは難しい。経験の浅い子ども達に、発達に合った遊びや環境の工夫をしていくか、試行錯誤し成功や失敗を繰り返し保育に取り入れることで自身の引き出しも増える。保育士自身が、保育を楽しむ姿勢は大切にしたい。気付きや悩みを語り合える風通しの良い関係性を継続させていきたい。

・一方、子どもに関わる保育以外にも書類等事務的な事や、行事の準備など多くの業務があるため、常に忙しいという実情はある。消毒などを分担して行う、夕方の時間を有効に使うためにノンコンタクトタイムの時間を割り当てる係も配置し、平等に時間を作りつつも今日、どうしても時間が欲しい人は自己申告をし、余裕がある時には譲り合うことも積極的に行えるようになりつつある。忙しい中でもより良い保育を行うことが出来るよう引き続き工夫をしていきたい。

園総合評価

・今年度は職員の入退職が3名ずつあり、小規模としては大人数の入れ替えとなった。当初は信頼関係を築きつつ、新規職員は園が目指す保育や1日の流れを把握することなど、全体的に慌ただしさを感じさせるスタートとなった。非常勤職員の積極的な働きかけもあり、保育について時間を見つけては語る機会を持っていったことが1年を通し、語り合いの多い保育環境へ繋がっていったように感じる。

・連絡ノートやおたより、ツイッターなどを通して個人・クラス・保育園の様子を発信している。お迎えの時間も、保護者に様子をお伝えできる機会を持っている。クラスの枠にとらわれず、どの職員も全園児とも関わる機会が多く持てることは小規模保育園の良さでもあるため、保護者対応も正規・非正規問わず行いながら、子どもの成長を伝えたり、時には子育てのアドバイスをしながら今後も保育園が子ども達にとっても保護者にとっても心地よい場所となるようにしていきたい。